

日本教育支援協働学会 創立大会シンポジウム

日時：2018年6月2日(土)
13:00 ▶▶▶ 16:30

場所：東京学芸大学 S410



QRコードから事前に参加申込をお願いしております。事前に参加申込された方には、当日もれなく『シンポジウム資料集』をさしあげます。QRコードが読み取れない方は、学会HP(裏面参照) または <http://bit.ly/kyodo20180602> から申込できます。

▶ 第一部 シンポジウム (13:00 ~ 14:30)

「チーム学校」の実現にむけた方策の探究 —これまでを捉え、これからを見据える

⇒【シンポジウムのねらい】裏面参照

▶ 第二部 ラウンドテーブル (15:00 ~ 16:30)

(1) 「教育支援」・「教育協働」のデザイン

コーディネーター：鉄矢 悦朗

「教育支援」や「教育協働」をデザインし、取り組んでいる事例(現在進行形を含む)をプレーヤー視点、評価者の視点などを含めて、発表と質疑のラウンドテーブルを通し、活動のデザインポイントを描き出す試み。

(2) 学校スポーツ支援の実際

コーディネーター：森山 進一郎・久保田 浩史

学校における運動部の活動について、教員ならびに教員以外の運動指導専門職が、それぞれの活動現場における実際を報告する。ラウンドテーブルでのディスカッションを通して、学校スポーツ支援の今後のあり方を模索する機会としたい。

(3) “多様な学び”と“義務教育機会確保法”の可能性

コーディネーター：加瀬 進

多様なニーズをもつ子どもに、ニーズに応じた教育を届けたい。ニーズに応じた教育を行う場を日本の“スクール”として公平かつ多様に認めたい。平成28年12月14日法律第105号として公布された“義務教育確保法”の可能性を問う。

シンポジウムのねらい

子どもの多様化、教師の多忙化が社会問題になる中、我が国の教育政策として学校教員以外の専門スタッフを学校内で組織化し学校改革を促す「チーム学校」づくりが進められようとしています。しかしながら、例えば教師、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーは養成段階において既に独立した専攻・コースに所属し、相互に交流・協働して学ぶ機会は極めて限定されているのが現状です。また、それぞれが求める人材像や専門性（理念・知識・技能）も異なっており、現職となってからの連携・協働にはおおきな困難を伴うことが経験知として共有されていると思われます。

本学会は、その設立趣意書にある通り、さまざまな専門職等が「学校をプラットフォームとして互いに“教育支援”を行いながら“教育協働”を進め、社会総掛かりで次世代を育成する営み」が求められているという現状認識のもと、そうした“教育支援”と“教育協働”による新しい実践事例を集積・交流させ、より充実した実践を生み出すための知の創出を進めようとするものです。よって、本学会には「チーム学校」をよりよく機能するものとして、真に実現させるという重要なミッションが課せられています。

そこで、創立大会のシンポジウムでは「チーム学校」の実現にむけた課題は何か、その現状を打開するための方策や必要な基礎的データの収集方法等について広く意見を交換し、学会が取り組むべき研究課題を明確にする端緒にしたいと思えます。

基調提言：「チーム学校」をめぐる現況と課題

…… 後藤ひとみ（日本教育支援協働学会会長、愛知教育大学学長）

1) コミュニティ・スクールから見えてくる「チーム学校」づくりの課題

…… 入江優子（東京学芸大学 児童・生徒支援連携センター）

2) 教養学科から改編した「教育協働学科」が目指すチーム学校の姿

…… 新崎国広（大阪教育大学教育学部教育協働学科）

3) スクールソーシャルワーカーが期待する「チーム学校」の姿と実現への課題

…… 佐々木千里（名古屋市立大学特任教授、スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー）

4) 学校事務職員が求める「チーム学校」の姿と実現への課題

…… 風岡 治（愛知教育大学教育支援専門職養成課程教育ガバナンスコース）

お問い合わせ

日本教育支援協働学会ホームページ → <http://kyoiku-shien-kyodo.org/>

会場へのアクセス

○ JR 武蔵小金井駅北口（徒歩の場合は約20分）

【京王バス】〔5番バス停〕

「小平団地」行に乗車 約10分～「学芸大正門」下車 徒歩約3分

○ JR 国分寺駅北口（徒歩の場合は約20分）

【銀河鉄道バス】〔国分寺駅入口バス停〕

「小平駅南口」行に乗車 約7分～「学芸大学」下車 徒歩約3分

○ 西武新宿・拝島線小平駅南口

【銀河鉄道バス】〔小平駅南口バス停〕

「国分寺駅入口」行に乗車 約14分～「学芸大学」下車 徒歩約3分

※銀河鉄道バスは学芸大北門前に止まります

